

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

受託団体名 財団法人海外日系人協会

1 事業の趣旨・目的

当協会が行う各種事業は、その特性から、多くの在日日系人と関係があるが、当該日系人の中には日本語能力が高い者がいる。また、平成16年度より開設した、地域の日系就労者を対象とする「みなとみらい日本語教室」においては、受講期間中に日本語能力を日本語指導者としての育成対象レベルまで高めた卒業生が数名いる。

日本語教室受講生の母語を理解し、日本語能力も高い、これらの日系人を中心に、「Ⅲ 日本語能力を有する外国人を対象とした日本語指導者養成」事業によって日本語指導者を養成し、その後、養成した日本語指導者を日本語教室の講師として活用することによって、受講生の日本語学習を推進し、学習効果を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
11月2日	重松美知子 熊井美穂子 武田知子 知念輝美 坂本麻子 中元司郎 中井扶美子 土方陽美	・進捗状況の確認 ・今後の日系人講師の活用の仕方	・日系人講師は、9月 は見学を主体とし、 その後、徐々に授業 の一部を担うように している。 ・日本語能力、指導能 力に個人差があり、 個別の対応を考えて いく必要がある。
2月7日	重松美知子 熊井美穂子 和美智子 中元司郎 中井扶美子	・進捗状況の確認 ・残り約2ヶ月の課題と目標	・日系人講師それぞれ の持ち味を生かした 指導を行っている。 ・日本人講師との連絡 にも大きな問題はな

	土方陽美		い。 ・日本人講師と日系人講師が主となる部分をそれぞれ分担して授業を進める形に、受講生たちも慣れてきた。 ・日系人講師がさらにステップアップできるように考えていく。
3月28日	重松美知子 熊井美穂子 坂本麻子 和美智子 中元司郎 中井扶美子 土方陽美	・本年度の総括 ・次年度へ向けた課題	・日系人講師に徐々にステップアップを踏ませることによって、全般的に無理なく進めることができた。 ・日系人講師が担当する範囲をどの程度に設定したらいいか、迷うことがあったが、日系人講師の能力・経験に差があるため、次年度も個人別の対応が必要となるであろう。

【写真】



3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称：「みなとみらい日本語教室」

② 開催場所：JICA 横浜内セミナールーム（横浜市中区新港 2-3-1）

③ 学習目標

- ・日本で生活する上で必要とされるレベルの日本語能力を身につける。
- ・会話力をつけることにより、周囲の日本人とよりよいコミュニケーションができるようになる。

④ 使用した教材・リソース

- ・にほんごみらい 2、3
- ・ひらがなれんしゅうノート、カタカナれんしゅうノート

⑤ 受講者の募集方法

- ・当協会ホームページにより募集広報を行った。
- ・インターナショナルプレス紙（スペイン語版）により募集広告を掲載した。
- ・募集リーフレットを関係各所に配布した。

別添 1：募集リーフレット（9～11 月）

別添 2：募集リーフレット（1～3 月）

別添 3：新聞広告

⑥ 受講者の総数 19 人（延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。）

⑦ 開催時間数（回数） 60 時間 （全 24 回）

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
1	9 月 6 日 9:30～ 12:00	2.5 時間	10 人	ブラジル国・ポルトガル語（4 人） ペルー国・スペイン語（3 人） アルゼンチン国・スペイン語（1 人） ボリビア国・スペイン語（2 人）	教授者 1 人	・ プレースメントテスト ・ 前期の復習
2	9 月 13 日 9:30～ 12:00	2.5 時間	11 人	ブラジル国・ポルトガル語（4 人） ペルー国・スペイン語（4 人） アルゼンチン国・スペイン語（1 人）	教授者 1 人	・ 第 11 課 ～は～に～ます ～時～分前です

				ポルトガル国・スペイン語（2人）		～をしていますか ・ひらがな（が行、ざ行）
3	9月20日 9:30～ 12:00	2.5時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語（3人） ペルー国・スペイン語（3人） ポルトガル国・スペイン語（2人）	教授者1人	・第12課 ～なら ～にあります どっちが～？ この／その＋名詞 ・ひらがな（だ行、ば行）
4	9月27日 9:30～ 12:00	2.5時間	7人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（4人） アルゼンチン国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者2人	・第13課 ～はすきです （味）です （期間）に（回数） （頻度）～ます ・ひらがな（ぱ行）
5	10月4日 9:30～ 12:00	2.5時間	7人	ブラジル国・ポルトガル語（3人） ペルー国・スペイン語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（1人）	教授者1人	・第14課 ～たいんですが ～ができます ～ことができます ・ひらがな（促音）
6	10月11日 9:30～ 12:00	2.5時間	6人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（4人）	教授者1人 補助者1人	・第15課 どのくらい～？ （期間）かかります ～で（手段） ～ています 可能形 ・ひらがな（長音）
7	10月18日 9:30～ 12:00	2.5時間	9人	ブラジル国・ポルトガル語（4人） ペルー国・スペイン語（2人） アルゼンチン国・スペイン語（1人） ポルトガル国・スペイン語（2人）	教授者1人 補助者1人	・第16課 ～は～がです ～を（目的）に行きます ～がいいですよ ～へ～たことがありますか ・ひらがな（拗音）
8	10月25日 9:30～	2.5時間	8人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（4人）	教授者1人 補助者1人	・第17課 ～とき

	12:00			アルゼンチン国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (1人)		どうしますか ～て、～ます ～ほうがいいです ・ひらがな (長音、拗音)
9	11月1日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	9人	ブラジル国・ポルトガル語 (3人) ペルー国・スペイン語 (4人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (1人)	教授者1人 補助者1人	・第18課 ～し、～し ～のほうが～ (比較) ～てもらいます ・カタカナ (ア行、カ行)
10	11月8日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	6人	ブラジル国・ポルトガル語 (3人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (2人)	教授者1人 補助者1人	・第19課 ～ないほうがいいです ～ないように～ ～ておきます ・カタカナ (サ行、タ行)
11	11月15日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	5人	ブラジル国・ポルトガル語 (1人) ペルー国・スペイン語 (2人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (2人)	教授者1人 補助者2人	・第20課 (年齢) までに～たい です もし～が～たら ～てみたいです ・カタカナ (ナ行、ハ行)
12	11月22日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	4人	ブラジル国・ポルトガル語 (2人) ペルー国・スペイン語 (1人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人)	教授者1人 補助者1人	・第11課～20課まとめ ・カタカナ (マ行、ヤ行)
13	1月10日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	9人	ブラジル国・ポルトガル語 (2人) ペルー国・スペイン語 (4人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人) ボリビア国・スペイン語 (2人)	教授者1人	・プレースメントテスト ・前期の復習
14	1月17日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	6人	ブラジル国・ポルトガル語 (2人) ペルー国・スペイン語 (2人) ボリビア国・スペイン語 (2人)	教授者1人 補助者1人	・第21課 (辞書形) と、～ (い形容詞) になります (な形容詞・名詞) に なります 動詞の名詞修飾 ・カタカナ (ラ行)
15	1月24日	2.5 時	9人	ブラジル国・ポルトガル語 (3人)	教授者1人	・第22課

	9:30～ 12:00	間		ペルー国・スペイン語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（1人） ボリビア国・スペイン語（2人）		（て形）も、～ （て形）もらえませんか 迷惑の受身 ・カタカナ（ガ行、ザ行、 ダ行）
16	1月31日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	6 人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者1人	・第23課 ～の～に（位置） （て形）しまいました ～たまま ・カタカナ（バ行、パ行）
17	2月7日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	7 人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（1人） ボリビア国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者1人	・第24課 （て形） います。 （ふつう形）ので～ （て形） きます。 （て形） きて もら えませんか。 ・カタカナ（促音）
18	2月14日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	5 人	ブラジル国・ポルトガル語（3人） ペルー国・スペイン語（1人） アルゼンチン国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者1人	・第25課 （形容詞）すぎる い形+します （普通形）そう（伝聞） ・カタカナ（拗音）
19	2月21日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	6 人	ブラジル国・ポルトガル語（3人） ペルー国・スペイン語（2人） アルゼンチン国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者1人	・第26課 （い形容詞）いと思 います （な形容詞）だと思 います （辞書形）と思いま す （辞書形）かもしれ ません ・カタカナ（拗音）
20	2月28日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	7 人	ブラジル国・ポルトガル語（2人） ペルー国・スペイン語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（1人） ボリビア国・スペイン語（1人）	教授者1人 補助者1人	・第27課 （疑問詞）でもいい です （原因）で

						(ます形) なくなりま した (可能形) ようになり ました ・カタカナまとめ
21	3 月 7 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	8 人	ブラジル国・ポルトガル語 (3 人) ペルー国・スペイン語 (3 人) アルゼンチン国・スペイン語 (1 人) コロンビア国・スペイン語 (1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	・第 28 課 (形容詞) ことが あ ったんです。 (た形) ことは なん ですか。ー (た形) こ と です。 (形容詞で形) ～ ・漢字 (日、本、年、駅、 安、高)
22	3 月 14 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	6 人	ブラジル国・ポルトガル語 (2 人) ペルー国・スペイン語 (3 人) アルゼンチン国・スペイン語 (1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	・第 29 課 家族の名称 くれます (て形) くれます (名詞) のために ・漢字 (会、社、父、母、 店、車)
23	3 月 21 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間	8 人	ブラジル国・ポルトガル語 (3 人) ペルー国・スペイン語 (3 人) アルゼンチン国・スペイン語 (1 人) コロンビア国・スペイン語 (1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	・第 30 課 (辞書形) ことにしま した (辞書形) まえに (意向形) と思います ・漢字 (前、電、気、来、 月、出、行)
24	3 月 28 日 9:30～ 12:00	2.5 時 間		ブラジル国・ポルトガル語 (2 人) ペルー国・スペイン語 (3 人) アルゼンチン国・スペイン語 (1 人)	教授者 1 人	・総まとめ ・ポストテスト

- ・初級レベルの文法事項、会話などを中心に指導した。
- ・文字については、ひらがな、カタカナ、漢字(入門)を指導した。

⑨ 特徴的な授業風景（２～３回分）

別添４：平成 21 年 1 月 17 日授業報告

別添５：平成 21 年 2 月 28 日授業報告

別添６：平成 21 年 3 月 7 日授業報告

別添７：写真

⑩ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
村中アリアナ	ポルトガル語（ブラジル国）	3 年	4 回	授業補助，通訳
日出なぎさ	ポルトガル語（ブラジル国）	15 年	3 回	授業補助，通訳
田中マリア	ポルトガル語（ブラジル国）	18 年	6 回	授業補助，通訳
キカワレ	ポルトガル語（ブラジル国）	4 年	2 回	授業補助，通訳
伊木真弓	ポルトガル語（ブラジル国）	19 年	1 回	授業補助，通訳
テドロズ・スタマン	スペイン語（ペルー国）	17 年	1 回	授業補助，通訳
レイディ・トリサ	スペイン語（ペルー国）	9 年	1 回	授業補助，通訳

⑪ 支援者の名簿（⑦以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
なし				

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

学習目標はおおむね達成できたと考える。日本で生活する上で必要な表現や語彙を中心とした自作テキストを、講師の指導力により効果的に使用できた。

学習者はある程度の会話力も身につけられたと考えるが、実際に周囲の日本人とのコミュニケーションに役立たせているかどうかは、個人の生活環境によって異なる。

② 学習者の習得状況

学習者は、おおむね学習項目を理解することができたと考える。しかし、日常的に意識して日本語を使用しない学習者にとっては、一時的な理解にとどまり、学習項目が定着しない傾向がある。一方、自宅できちんと復習をしてくる学習者もあり、授業が進むにつれて、力を積みあげてきたことが明白にわかった。

③ 日本語教室設置運営の効果，成果

学習者は、教師としては新人である日系人講師に対して協力的であった。日系人講師は、緊張したり、授業をすることの難しさに戸惑ったりすることもあったが、学習者と日本人講師に助けられ、授業をすることが「楽しい」と思えるようになってきた。昨年度は、日系人講師が大きく自信をなくしてしまい、その対応に苦慮したため、その反省を活かし、日系人講師には日本人講師と同じ授業方法・レベルを求めるのではなく、母語を使用した効果的な指導法を日本人講師と一緒に考え、少しずつ実施に移すことができた。

学習者にとっても、日系人講師は母語による説明が円滑にできる、頼りになる存在となった。

④ 地域の関係者との連携による効果，成果 等

相模原国際交流ラウンジ、慶應義塾大学、横浜国際教育学院などの日本語教育関係者を見学者として受け入れ、交流を促進した。

⑤ 改善点，今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

日系人講師は、日本人講師の指導を受けながら、授業の準備を行い、日本語指導にあたった。日系人講師が母語を活用して指導を行うことで、学習者にとっては、新出語彙や文法事項が速く正確に理解できたものとする。

b. 今後の課題

プライベートレッスンの形であれば大きな問題はないであろうが、クラス授業をするためには、文法に対する正しい知識のほかに、授業の組み方、適切な練習方法、学習者全体への配慮、時間配分など総合的な指導力が求められる。これらを習得するためには、長期的な研修が必要である。しかし、他の仕事を持った日系人講師が本気で日本語教師になりたいと考え、そのために自ら学習資金を捻出したり、学習時間を確保するというような動きをとることは考えにくい。

クラス形式でどのように日系人講師を活用するかは、日本人講師の手腕にかかっているのが現状である。

c. 今後の活動予定、展望

日本語を教えることに興味を持ち、教えることが楽しいと感じた日系人講師が多かったことは、当協会にとっても嬉しい結果となった。次年度以降も日系人講師を活用した日本語教室を運営できるよう、取り組みを続けたい。

⑥ その他参考資料

日系人講師には、授業担当の日以外であっても日本人講師の授業実施方法を学ぶため、教室に入って授業見学することを許可した。その際、負担のない範囲で授業見学シートに記入してもらった。

別添 8：授業見学シート

以上